



【自主 敬愛 勇健】 ～生徒が自信をもって生き生きと活動する学校～

<第57回秋桜祭の様子から①> ～一人一人の色が様々な場面で輝いていました～

第57回秋桜祭が大成功で終わりました。一人一人のもつ色が様々な場面で輝き、笑顔と感動のある秋桜祭であったと思います。私は、生徒の皆さんの努力してきた姿や力を発揮している姿を見て、北中生が着実に進歩し、大きくなってきていることを十分に感じ取ることができました。このことから、今年度の秋桜祭テーマ「個性あふれる256色～伝説 超えるしか71(ない)!!」に込められた「一人一人のもつ力を結集して今までで一番の秋桜祭をつくりあげたい」という願いは、確かに叶ったと思います。全校生徒の中心となって、秋桜祭の企画をし、準備を進めてくれた生徒会役員の皆さん、本当にありがとうございました。皆さんの熱意は私たちにもよく伝わってきました。皆さんの頑張りに心から拍手を送ります。



ステージバック

2日間の秋桜祭には、多くの保護者の皆様や地域の皆様にお越しいただき、生徒の学習の成果や活躍ぶりをご参観いただきましたことは、生徒にとって大きな励みになりました。誠にありがとうございました。これからも生徒を温かくお支えいただきますよう、よろしく願いいたします。



全校制作

以下に、簡単ではありますが、私の個人的な感想を記載します。感動したことや感心したことは多くありますので、何回かに分けて記載していく予定です。

※発行時期が遅くなるがありますが、お目通しください。また、学年・学級通信でも、秋桜祭の様子をお伝えしていきますので、掲載する写真は一部のみとします。ご了承ください。

■ステージバックのデザインは、全校一人一人のもつ個性を北中のシンボルとも言えるコスモスの花で表現したとのこと。今年度のテーマをととても分かりやすく表現しています。完成にかなりの時間を要したと聞いています。美術部の皆さんよく頑張りました。ありがとうございました。秋桜祭の看板もとても美しく仕上がっていますので、来年まで飾っておきたいです。美術部の展示作品はどれも見る者をうならせるような力作ばかりで、中には販売価値のある作品もありました。さすが美術部です。



美術部制作の看板

■秋桜祭の2日間は、開催式から閉祭式まで、すべて3年生を中心とした生徒会役員の皆さんが力を合わせて進行してくれました。今年度はゲームソフトのキャラクターに扮した演出を途中途中で盛り込み、笑いを引き出しながら全校の雰囲気を盛り上げてくれました。このゲームソフトは、私が大学生の時に流行ったもので、現在も復刻版が販売されていることから、ご来場された方もよくご存じだと思います。年代問わず、楽しんでもらえる演出にしことは見事であると思います。生徒会役員の皆さんの発想力に感服しました。ありがとうございました。



生徒会役員の皆さんによる演出

※このゲームに熱中しすぎて体調をくずしてしまった昔の悲しい思い出がよみがえってきました。

■今年度の各学級の意気込み発表は、クラスCMとして、事前に撮影した動画を放送して行いました。「出演する人の声が聞こえやすい」「失敗しても撮り直せる」などのメリットを考え、そのようにしたのだと思います。素晴らしいです。どのCMも、各学級の個性がよく表れていて、見入ってしまいました。担任や学年の先生方も生徒の活動の協力していただいたことと思います。ありがとうございました。



クラスCM

※ゲストとしてお招きいただければ「登場してもよかったのに」と、密かに思っていました。

—次号に続く—